

新任女性医師紹介 ☆ 窪 麻由美医師

10月1日より、前任の永井富裕子医師に替わって窪麻由美医師が着任いたしました。
 11月からは外来も担当させていただくことになりました窪医師にインタビューさせていただきました。

編集者：こんにちは。まず簡単なプロフィールをご紹介ください
 窪医師：はい。皆さんはじめまして、窪麻由美です。高知県出身で東京女子医科大学卒業後、順天堂大学医学部産婦人科を経て、このたび佐藤病院で働かせていただくことになりました。
 編：群馬・高崎は初めてですか？
 窪：はい。出身が高知なので暑さには強いのですが、高崎の冬はとても寒いと聞いて今からとても心配しています。
 編：趣味は何でしょうか？
 窪：バスケットボールです。大学時代はレギュラーとして活躍していました。
 時間があれば高崎でもチームに入ってやってみたいですね。
 編：お酒は強いほうですか？
 窪：いいえ、それほどでもないと思います。
 編：好みの男性のタイプは？
 窪：やせていてマッチョでメガネ（サングラスでもOK）が似合う人ですね（笑）
 「私立探偵マイク」の永瀬正敏さんみたいな人がいいですね。

編：具体的にありがとうございます。最後に佐藤病院での抱負をお願いします。
 窪：今まで大学では見られなかつたいろいろなお産をみて、吸収したいです。院長はじめ他の医師について、不妊や内分泌についても積極的に身につけ、今後に活かしたいと思っています。
 また1日も早く皆さんに愛されるよう努力します。皆さんどうぞよろしくお願いします。



スタッフ紹介 駐車場係 荒木孝尚・芦谷次雄

雨の日も風の日もいつも「オーライ、オーライ」と声をあげて車の誘導に走り回っている二人を、名前は知らないでも顔はよく知っているという方が多いのでは？休みの日に街中で声をかけられることも少なくないとか。以前スキー場で声をかけられたこともあるそうです（すごい！）誘導だけでなく、駐車場の整備も担当する芦谷、院内設備のメンテナンスも担当する荒木です。これからますます寒くなり、トレードマークの黄色いシャツがベンチコートに変わりますが、皆様が安全で



写真左から
荒木孝尚・芦谷次雄

安心できるよう、元気で頑張って欲しいと思います。

《声》アンケートより

佐藤病院業務改善委員会

このコーナーは、よりよい病院を目指して、患者様にご協力いただいているアンケートやご意見箱の集計結果をもとに、特に多かったご意見とその対策をご紹介します。また、紙面をご覧の皆様からもご意見をお聞かせいただけますようお願ひいたします。Emailまたは会計窓口横のカエルのご意見箱をご利用ください。

- トイレに便座シートがあるといいと思います
 ⇒8月上旬より、安心してご利用いただけるよう外来・病棟ともトイレに除菌クリーナーを設置いたしました。また、病棟の個室につきましては、清掃終了時に「除菌済み」ペーパーを取り付けることで清潔である表示といたしました。
- シャワー室のカーテン幅が短くて、隙間から見えそうです
 ⇒ご迷惑をおかけしました。シャワー室のカーテンを幅もゆったりとした物へと新しく取り替えました。また「使用中」の札を新設した他、パウダールーム全体のカーテンを目隠しになるように新調いたしました。
- 入院中の食事ですが、展望レストランへ行くことができない時はどうしたらよいでしょうか。
 ⇒ご安心ください。基本的に歩ける患者様には6階展望レストランで食事をおとりいただきますが、安静を要する患者様には、お部屋までお届けいたします。温かいものは温かく、冷たいものは冷たくいただけるよう、配膳車を新しくいたしましたので、お部屋でもゆっくりお召し上がりいただけます。

佐藤病院理念

私たちは出産を中心、女性の生涯にわたる専門病院として、優秀なスタッフによる最新医学を取り入れた診療内容を、地域社会に提供する使命を自覚し、温かみのある看護とサービスにより、患者様一人ひとりに愛される病院を目指します。

基本方針

- 地域に密着した女性専門病院として、女性の生涯に貢献する
- 常に学び続け、医療技術の向上を図る
- 医療のプロとして誇りを持って行動し患者様の信頼に応える
- 互いの信頼関係を大切にし、信頼の輪を広げる
- 経営環境を自覚し、適応する効率と改善に努力する

当院は患者様の医療に対する主体的な参加を支援するために、以下の「患者様の権利章典」を尊重し診療を行います

- 患者様には、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を得る権利があります
- 患者様には、医療従事者が提供する治療法に関して、自らの意思で決定する権利（選択する権利と拒否する権利）があります
- 患者様には、診療録等の開示を求める権利があります。また、診療過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります
- 患者様には、医療従事者に対して、患者様自身の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただく責務があります

佐藤病院ニュース

①去る9月25日（土）展望レストランにて「胎教コンサート」が行なわれました。1時間の短いコンサートでしたが、ピアノの生演奏と歌だけでなく、音楽や言葉による水の結晶の違いを見せたスライドや絵本の読み聞かせなど趣向をこらしたコンサートに未来のお母様だけでなく、お父様やおばあ様からも喜びの声をいただきました。定期的な開催を望む声が多く、今後も開催していきたいと考えています。演奏者のあかみくみこさん、朗読してくださった関口春香さん、ご協力いただいたスタッフの皆さんありがとうございました。尚、コンサートで使われた絵本「あなたのうまれたひ」（永田萌 作）はゆうゆにて販売しております。



あかみくみこさん
と関口春香さん

②プレモの掲載

只今、書店にて発売中のPre-mo11月号に当院で撮影取材された特集記事「生まれたて赤ちゃんの全て」が掲載されています。撮影が行なわれたのは9月。お産がおすすめになつたばかりの11人のお母様方にご協力をいただき本当にありがとうございました。

③たまごクラブのたまちゃんと安産祈願

9月30日、たまごクラブでお馴染みのたまちゃんが来院！安産祈願の患者様や小さなお子様連れでにぎわいました。先着20名様には取材撮影があり、11月15日発売予定のたまごクラブ12月号に掲載されます。



院長とたまちゃん⇒



写真左から 矢野和美、矢島英彦、
野口知奈津、大塚みゆき

施設案内・薬剤部

私たち薬剤部は薬に関する業務全般のほか、医療用材の管理や病室の除菌消臭など清潔に関する仕事を担当しています。また院内感染対策委員会に所属し、総師長のもと、院内の手洗い励行や手指の消毒液使用励行などの活動もしています。

ちょっと変わったところでは、アロマオイルを調合して分娩室や診察室の消臭やリラクゼーションにも一役買っています。

お薬の院内処方の際には、会計時に窓口で皆様とお話をさせていただいていますが、普段はなかなかお目にかかる機会が少ないですね。院内で見かけたらお気軽にお声かけください。一人でも多くの患者様のためになれるこことを心より願い、日々努力しております。



写真左から 矢野和美、矢島英彦、
野口知奈津、大塚みゆき

セミオープンニュース 連携医紹介② 富岡市「こすげレディスクリニック・院長小菅利弘先生」

今回ご紹介のセミオープン連携医は富岡市のこすげレディスクリニックの院長・小菅利弘先生です。

「国立高崎病院で産婦人科医長を経て、平成14年より、地元富岡市で3代目として、こすげレディスクリニックを開院し2年が経ちました。産婦人科・内科・アレルギー科として、ご家族皆様で受診して頂いています。

分娩施設がないので、皆様には里帰りまでの妊婦健診という感覚でいらして頂いております。妊娠35週ごろまで、診させて頂きます。大きい施設ではないので、エコーをビデオ録画する等のサービスしかできませんが内診機器などは整っております。富岡市近辺にお住まいの方は、妊婦健診や体調を崩してしまった時などお越しください。当院で行った診察や、検査すべての情報を佐藤病院様へお渡しますので病院が変わっても安心して分娩に望んでもらえると思います。出生率の低下といわれている

時代ですが、皆様にすばらしい出産の思い出を作って頂きお子様にお話してあげて頂きたいものです。」

富岡市富岡1494-1
Tel:0274-62-0275



患者様の権利章典

